

2017年1月5日

株式会社リプロセル
代表取締役社長 横山 周史

2017年 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様の多大なるご支援により、リプロセルは今年で設立より15年目という節目を迎えることができました。2013年の上場以来、米国・英国の4社の買収・合併を通じて積極的にグローバル化を推進し、現在は海外売上比率が70%程度、社員の約半数が海外の拠点に在籍するグローバル企業に成長しております。

特に昨年は、台湾のSteminent社からの細胞医薬品の導入（脊椎小脳変性症の再生医療による治療）により、再生医療事業への本格的な参入を果たし、当社グループにとって大きな進展のあった年でありました。

現在、再生医療分野は、今後大きな成長が期待される市場として、世界的に大きな注目を集めている分野のひとつです。その中でも細胞を活用した再生医療は徐々に広がりを見せておりますが、それに伴い、ヒトの体に害がなく、臨床でも使用できる細胞用試薬の需要も高まってくると想定されます。当社グループでは細胞医薬品に加え、臨床グレードのiPS細胞を作製するために必要な細胞培養液や細胞の凍結保存液、そして安全性が高く臨床応用に最も適したiPS細胞が作成可能な新しいRNAプログラミング試薬製品を有しており、今後広がっていく再生医療分野にも的確に対応できるよう、準備を整えております。

当社といたしましては、様々な企業に先駆けて再生医療市場へ参入し、市場が本格的に立ちあがる前に地盤固めをする事が、今後の当社グループの再生医療事業成功のカギを握っていると考えており、今後も引き続き積極的に再生医療事業を推進し、加速させてまいります。

今後とも、多くの人々の役に立つ事が出来る再生医療や医学、バイオ技術の発展に貢献できる企業として、役員はじめ全社員が一丸となって事業の推進に取り組んで参りますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様におかれましても、幸多き年になりますよう役職員一同祈念しております。

以 上